※注１　当期増加額は、前中期目標期間からの繰越によるものであります。当期減少額は、期首残高を積立金に振り替えた4,265,137,033円と、負担金・賦課金の徴収経費の取崩額131,806,305円であります。

※注２　⑴前中期目標期間最終年度の積立金の期末残高は827,098,676円であり、これに前中期目標期間の最終年度の未処分利益307,813,690円及び前中期目標期間目的積立金の使用残額4,265,137,033円を加えると積立金は5,400,049,399円となります。

⑵この積立金5,400,049,399円のうち、今中期目標期間の業務の財源として繰越の承認を受けた額は4,058,682,061円であり、差し引き1,341,367,338円については国庫に納付しています。

４）水源林勘定

（単位：円）

区　　分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘　　要
前中期目標期間繰越積立金	—	1,047,574,231	—	1,047,574,231	※注１ 積立金からの振替額1,047,574,231円
通則法44条１項積立金	629,024,253	418,549,978	1,047,574,231	—	※注２ 当期積立額418,549,978円 前中期目標期間繰越積立金1,047,574,231円
計	629,024,253	1,466,124,209	1,047,574,231	1,047,574,231	

※注１　当期増加額は、前中期目標期間からの繰越によるものであります。

※注２　⑴前中期目標期間最終年度の積立金の期末残高は629,024,253円であり、これに前中期目標期間の最終年度の未処分利益418,547,978円を加えると積立金は1,047,574,231円となります。

⑵この積立金1,047,574,231円が、今中期目標期間の業務の財源として繰越の承認を受けた額であります。

15. 目的積立金の取崩しの明細

１）法人単位

（単位：円）

区　　分	金　　額	摘　　要
前中期目標期間繰越積立金取崩額	252,807,893	前中期目標期間において自己財源で取得した固定資産の減価償却費及び除却相当額の取崩し等
前中期目標期間繰越積立金取崩額	131,806,305	負担金・賦課金の徴収経費
計	384,614,198	
その他	4,265,137,033	積立金への振替
計	4,265,137,033	

２）研究・育種勘定

（単位：円）

区　　分	金　　額	摘　　要
前中期目標期間繰越積立金取崩額	252,807,893	前中期目標期間において自己財源で取得した固定資産の減価償却費及び除却相当額の取崩し
計	252,807,893	

３）特定地域整備等勘定

（単位：円）

区　　分	金　　額	摘　　要
前中期目標期間繰越積立金取崩額	131,806,305	負担金・賦課金の徴収経費
計	131,806,305	
その他	4,265,137,033	積立金への振替
計	4,265,137,033	

４）水源林勘定

該当事項がないため、記載を省略しております。

第明治三十二種郵便物認可